

研修生が奮闘中！

昨年度から、アサヒメロン農家を目指し2年間の研修に取り組んでいる、正村嘉浩さん、正村奈央さん、高津淳さんが初出荷を迎えました。

1年目は追分アサヒメロン組合員の高橋康二さんと林出一樹さんの畑でメロン作りを学び、2年目の今年は、4月に開所した安平町実践農場で生産に励んでいます。

気温が上がらない、季節外れの長雨など、研修生にとって苦難のスタートとなりましたが、試行錯誤を重ねようや



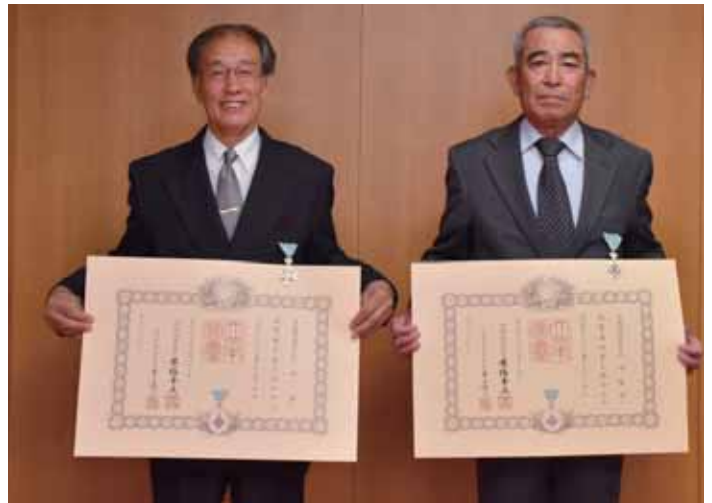
検査をする正村嘉浩さん

く出荷できるまでのアサヒメロンに成長。6月22日に正村さん、28日には高津さんそれぞれが生産したアサヒメロンの消費者の元へ届けられています。

27日、2人の研修生の訪問を受けた瀧町長は、メロンを試食し「美味しい」と一言。研修生の緊張もほぐれ、安堵の表情が見られました。「これから美味しいアサヒメロンを作って」との激励に答えるべく、研修生の奮闘はまだまだ続きそうです。



春の叙勲 上田 陽氏に瑞宝双光章 危険業務従事者叙勲 大崎繁晴氏に瑞宝単光章



あきら
上田 陽氏
(早来栄町在住)

大崎 繁晴氏
(追分美園在住)

6月10日、春の叙勲及び危険業務従事者叙勲の伝達式が早来庁舎で行われ、胆振総合振興局の下宮俊明副局長から勲記と勲章が授与されました。

瑞宝双光章を受章した上田氏は、昭和46年9月に早来消防団に入団。平成18年の安平町誕生に伴い、安平消防団の初代団長に就任、平成26年3月の退団まで42年余りの消防団の運営に尽力しました。また、瑞宝単光章を受章し

た大崎氏は、昭和44年追分町消防団本部消防士を経て、昭和47年に胆振東部消防組合職員として勤務。平成18年から安平支署長として、地域の実情に合った消防体制の強化促進、防火思想の普及、啓発に努めました。

両者ともに「勲記、勲章を手渡され、大変重みのある章をいただいた」と言葉少なにその喜びを語っていました。

ととなつても追分小学校の教え子たちとの繋がりを保ちつつ、それを励みとして元気に活躍されることを期待しています。

そして来年の4月。再び、追分小学校の教壇に立ち、教え子たちと再会し、被災地の経験や感じたこと、学んだことなどを伝えて欲しいと思います。

